市民と議会の意見交換会

21名の皆さまからいただいた「声」をお届けします

令和8年9月28日（月）・29日（火）の2日間、全4回にわたり「市民と議会の意見交換会」を開催し、**21名**の市民の皆さまにご参加いただきました。

28日はテーマを決めずに自由にお話しいただき、29日は「子育て支援」「高齢者施策」「公共交通」をテーマに意見を交わしました。前号（186号）の開催報告に続き、今号では皆さまからいただいた**主なご意見**をご紹介します。ご参加・ご協力いただいた皆さまに、心よりお礼申し上げます。

日にち	会場・内容
9月28日（月）	**るもいプラザ** フリートーク（自由に意見交換） 13:30～／15:30～の2回
9月29日（火）	**港西コミュニティセンター** 議会からの報告＋テーマ別の意見交換 16:00～／18:30～の2回
参加者	**計21名**



一人ひとりの声に耳を傾けました



テーブルを囲んで意見交換



議会からのあいさつで会がスタート

■ いただいた主なご意見

子育て支援

- 小さな子が安心して遊べる公園を。草刈りや遊具・噴水の手入れをしてほしい
- 「ちゃいるも」は休日に観光客で混み、地元の子が使いにくい（満足との声も）
- 0～2歳の保育料無償化や、おむつ代の補助を
- 放課後の子どもの居場所（児童館など）の拡充を
- 中学校の部活動の送迎は、保護者の負担が大きい
- 0歳から18歳までの支援を、ひと目で分かるように

高齢者の暮らし

- 外出が難しい高齢者も使える、タクシー券のような支援を
- ヘルパー不足などで支援を受けられない人がいる。地域で助け合える仕組みを
- 買い物に困る高齢者へ、移動販売車の誘致や助成を
- 今ある制度を使いやすくし、減らさないでほしい
- 元気な高齢者が参加でき、子どもや若い世代と交流できるイベントを

議会へのご意見

- 議員はもっと地域に足を運び、住民と話してほしい
- 日ごろの声かけが、災害時の素早い対応につながる
- 人口減少の中、議員定数をどう考えているのか

バス・移動手段

- バスの本数が減り、買い物や通院が大変。10月から市外へのバスも減便に
- バス停が遠い。市役所にもバス停がほしい
- 病院へ行くバスは遠回りで、時間がかかりすぎる
- バスが不便で、運転免許を返納できない
- 検討中の予約制乗合タクシーは、運転手の確保や地元タクシーへの影響が心配
- 市内を回る循環バスや乗り合いタクシーを

防災・お知らせの伝え方

- 広報車の放送は家の中では聞こえにくい。耳の不自由な方にも届く工夫を
- 防災ラジオを活用し、小さな地震でも情報を流して
- 保育園や学校には災害情報を優先して届けて
- 市の公式LINEは、高齢者には使いにくい
- 生活の困りごとを相談する窓口が分かりにくい

まちの元気・暮らし

- 商店の閉店が続き、まちに元気がない。買い物に困る人への対応を
- 道の駅周辺の渋滞が心配。信号や港への道の改善を
- 市立病院の待ち時間を短くしてほしい
- 地域で長く続く小学校の閉校を残念に思う
- 障がいのある方が地元で働ける場を増やして
- 高校生が地元に残れるよう、学校と企業の連携を

■ いただいたご意見の、これから

① 9月
意見交換会を開催

→

② 公開中
報告書（速報）を市議会HPに掲載

→

③ これから
議会広報広聴常任委員会で検討

→

④ その後
最終報告書を公表

あなたの声も、議会へ届けてください

- 町内会やサークルなど5人以上の団体で、意見交換会を申し込めます（開催希望日の1か月前までに）
- 「議会意見箱」でも、ご意見を受け付けています
- 報告書（速報）は、右の二次元コードから市議会ホームページでご覧いただけます

意見交換会ページ

問い合わせ　留萌市議会事務局　電話 42-1907　FAX 43-6700

住んでてよかった
これからも住み続けたい
まちづくりを

No.
187
令和8年

議会かわら版

今後の議会動向

11月2日（月）
第3回臨時会、特別委員会

留萌市議会では、一般質問の様子をラジオやインターネットを活用し放送・配信しています。



留萌市議会 YouTube